



未来へつなぐ ～平和学習～

本校では毎年、各学年の発達段階に応じながら、「平和学習」を行っています。次代を担う子どもたちが、先達から平和のバトンを受け継ぎ、未来へとつなぐ取組であると考えます。今回は、学年ごとに実施した平和学習の概要について少し紹介させていただきます。

【1年生】

「へいわってすてきだね」の絵本を読み聞かせし、平和について考えました。毎日の給食、友だちと遊ぶこと、家のあたたかさが、戦争中は当たり前ではなかったことを知り、子どもたちは平和な毎日に感謝していました。最後に、「平和だな。」と思うシーンを絵に描き、子どもたちはそれぞれの平和について考えました。



【2年生】

「おれはなにわのライオンや」「まちゃんと」の絵本を読んで、学習を進めていきました。「戦争はたくさんの命がなくなる。絶対にやってはいけないことだ。」「自分がこんな目にあつたらと思うと涙が出てくる。」「1発の爆弾でたくさんの人が亡くなるのはとても怖い。」などの感想を書いていました。2年生なりに平和とはどういうものかということを実剣に考えていました。

【3年生】

「平和のための香芝戦争展」の方々にゲストティーチャーとしてお招きし、「ぞうれっしゃがやってきた」のお話を合唱構成で聞かせてもらいました。戦争中、日本各地の動物園の動物が処分されるなかで、象を守り抜いた園長さんの思いを知りました。また、体験談を聞かせていただくこともできました。子どもたちは「人の命だけでなく、動物の命も奪ってしまう戦争は絶対にしてはいけない。」「小学生の時に空襲を経験したと聞いて、怖かっただろうなと思った。」「人を、動物を、命を大切にしないとけない。」と学習を振り返っていました。



【4年生】

戦争の様子や、戦時中・戦争後の暮らしについて、ボランティア講師の方から聞かせていただくことができました。「自分を大切にすること、周りの人を大切にすること。」というメッセージを子どもたちに残してくださいました。私たち自身が「平和」「未来」を作っていくことができるのだという思いが伝わってくる言葉でした。子どもたちからは、「戦争をしたらだめだと、将来につなげていきたい。」「人のことや友だちのことを、もっともっと大切にしよう」と心が動いた。」という感想が聞かれ、子どもたちにとって、深い学びにつながったのだと感じます。

【5年生】

名古屋で空襲を経験された方と、「平和のための香芝戦争展」の方に来ていただき、お話を聞かせていただきました。実際に体験された名古屋での空襲について、また、家を焼け出されてしまった後や戦後の暮らしなど、大変貴重なお話を語ってくださいました。香芝戦争展の方からは、「香芝市の戦争被害」について詳しく教えていただくことができました。学習のまとめにあたって子どもたちが書いた感想からは、「自分たちが住んでいる香芝市で戦争の被害があったとは知らなかった。」など、戦争を身近に感じた子どももいました。

6年生は、修学旅行での平和学習に向けて、2学期に事前事後の学習をする予定です。

